

<富山>長棟川第一発電所からの油漏れについて

平成24年9月13日
北陸電力株式会社

本日、午前8時30分頃、当社作業員が長棟川第二発電所の水路に油膜が浮いているのを発見しました。これを受け付近を調査したところ、上流の長棟川第一発電所に設置した仮設エンジン発電機から油が漏れており、漏れ出した油の一部が、長棟川（神通川支流）に流出したことが判明しました。河川に流出した油の量は、約9リットルと想定しております。

現在、油の流出は止まっており、今後、新たに油が流出する恐れはありません。また、油の拡散防止、油の回収作業を直ちに行なった結果、油の回収は完了しています。

当該関係者の皆さま、地域の皆さまには、大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

1. 発見した日時 平成24年9月13日(木) 午前8時30分頃
2. 漏れた油の種類 軽油（仮設エンジン発電機燃料として使用）
3. 流出した油の量 約9リットル
4. 油の拡散状況 長棟川と神通川の合流部より長棟川上流約800mと神通川下流約30mの範囲で数箇所の薄い油膜を確認
5. 油の回収状況 油の拡散防止のため、神二ダム上流の神通川にオイルフェンスを2箇所設置すると共に、確認された油膜については油吸着マットなどで回収を行い、14時30分回収完了
6. 油漏れの原因 仮設エンジン発電機から油が漏れ、発電所の水路を經由して長棟川に流出した。

<参考 長棟川第一発電所の概要>

- ・所在地：富山県富山市太田薄波
- ・出力：4,000kW
- ・発電開始年：大正14年
- ・水系名：神通川水系

仮設エンジン発電機

長棟川第一発電所構内に所内機器点検時の所内電源用に設置したエンジン発電機

以上

長棟川第一発電所油漏れ(平成24年9月13日) 油拡散状況およびオイルフェンス設置箇所

